

2018 年度春季大会報告

「わかばさんいらっしやい」 第 1 日目 12:10-13:00

担当： 中山英治 ・ 松本明香

本大会第 1 日目 12 : 10 から「わかばさんいらっしやい」が始まりました。今回も早くからわかばさんたちが会場に来訪されました。開始までの時間を使って、こちらが用意した「自己紹介カード」を用いてわかばさん同士交流を深めてもらってから、本題に入りました。わかばさんたちは、大会中どのように動けばいいかわからない、緊張しているとのことを口にしていたが、PowerPoint を使って大会の楽しみ方のコツを紹介すると、次第に表情も柔らかくなっていきました。

最終的に「いらっしやい」来訪者は 48 名と、盛況だったと言えるでしょう。また、アンケートでのコメントにも「気軽にわからないことを質問できる環境を作ってくれている」と書かれているなど、おおむね好評だったことが見受けられます。参加者は大学院生が大半でしたが、中には現場で実践を長く経験されながら大会参加は初めてという「わかばさん」や、高校生の「わかばさん」もいらっしやいました。そうした方たちにも、大会での時間を充実したものになるためのステップをご提供できたのではと思います。



「わかば・コンシェルジュ」 第 1 日目 12:00-14:45 / 第 2 日目 9:00-13:30

担当： 柳田直美 ・ 吹原豊



第 1 日目 12 時からのコンシェルジュブースには、12 時 10 分から始まる「わかばさんいらっしやい」への参加希望者をはじめ、随時、来訪者がありました。目的は「ぷらさ da わかば」に関する問い合わせが多く、回を重ねたことによる来場者の認知度と関心の高まりを感じました。具体的な問い合わせ内容としては、お勧めの発表の紹介依頼やわかばさんからの大会参加指南依頼などの本来「わかば・コンシェルジュ」として想定していたものが多く寄せられました。また、昼食場所、自販機設置場所の案内や発表会場に関する問い合わせもありました。昨年度秋季大会で登場した記念写真撮影用の顔出しパネルは今回も大きな集客力を発揮し、ブースの周辺で写真撮影を行う光景が学会大会に華やいだ雰囲気を与えていました。第 2 日目のコンシェルジュブースでは、受付開始時間の 9 時よりもはるか前から、「ぷらさ da わかば」の予約者が並び、予定していたセンパイの方々すべての予約

が埋まりました。黄色い法被の人たち（＝チャレンジ委員）⇒質問をすると親切に応じてもらえる といった認識も徐々に定着してきているように感じます。今後もコンシェルジュとして来訪者に提供できることを模索していきたいと思います。

「ぶらさ da わかば」 第2日目 12:10-13:20

担当： 三代純平 ・ 松尾慎

「わかば」の頃、日本語教育の世界で自分の先を歩いているセンパイと交流する機会を持てれば、ちょっとしたヒントをもらったり、悩みや疑問を相談したりすることができるかもしれません。しかしながら、自分からセンパイに話しかけたり、さらには、一対一で対話をする機会を持つたりすることはなかなかむずかしいことではないでしょうか。そんな「わかば」な人のために立ち上げたのが、「ぶらさ da わかば」も早いもので今回 5 回目の実施となりました。今回は、24 名の学会員の方にセンパイを引き受けていただきましたが、満員御礼となりました。受付は 9 時からだったにもかかわらず、9 時前の段階で数多くの「わかば」さんが受付に現れました。12 時 10 分に対話が開始すると、身を乗り出して話しているペアもいれば、具体的な資料を示しながらわかばと対話するセンパイの姿も目につきました。

まさにあっという間に対話時間の 40 分が経過し、「終了」を伝えたあともしばらくは対話続けるセンパイ＆わかばペアが多数いました。そして、インスタ映えするオリジナルパネルを使って笑顔の記念写真（もちろん、センパイとわかばさんのペア写真）で幕を閉じました。対話後のアンケート結果には建設的なコメントを多数いただきました。今後も少しずつ改善を重ねながらこの企画を続けていきたいと思っています。



総括

担当： 奥田純子 ・ 村澤慶昭

本春季大会における 3 つのチャレンジ支援事業は、大会恒例の事業としても定着してきた様子が、上記報告からもうかがえると思います。これも、これまでの反省をもとに、各担当チャレンジ委員が有機的に協働した結果の表れと、一同嬉しく思っております。また「おせっかい侍」や支部集会での「発表応募支援セミナー」の支援事業とも連携し、学会デビューを全面的に支援する体制ができてきたようにも感じております。加えて、今回初めて学会に参加してくださった高校生に対する支援なども通じて、わかばさんの裾野の広がりに期待も膨らんできました。

快く参加を引き受けてくださったセンパイの皆様や広報のみなさま、また大学院生などにご参加をお勧めくださった先生方みなさま、この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。